

COACH LICENSE HANDBOOK

日本バスケットボール協会
コーチライセンスハンドブック



モラルに反した指導を

しない、させない、見過ごさない

あなたの指導を もう一度見直してみませんか

暴力行為(体罰を含む)

暴言

パワーハラスメント行為

セクシャルハラスメント行為

はありませんか？

暴力は決して指導手段ではありません

指導者はプレイヤーのことを第一に考え
責任ある行動をとらなければなりません



巻頭言 はじめに	4
コーチライセンスの種類	5
大会のレベルと必要資格	6
コーチライセンス制度改定の段階的施行	7
コーチライセンス制度 細目一覧	8
コーチライセンス取得方法	9
講習会カリキュラム	10
JBA公認D級コーチからJBA公認C級コーチへの昇格を希望している方へ	11
リフレッシュ研修	12
資質向上のための施策	13
よくある質問	14



日本国内のバスケットボール指導者の皆様へ

優れた選手の育成や強いチーム作りをするためには、指導者の存在は何よりも重要な要素です。特に若年者への指導は、指導者の優劣が選手にそのまま反映してしまうといっても過言ではありません。

そのために、2001(平成13)年からはコーチライセンス制度を発足させ、求められる日本のバスケットボール指導者像を明確にすると共に、登録している各チームや指導者が認識を共有されることを願って活動してまいりました。

2015(平成27)年度からの完全義務化を目指して、2011(平成23)年には改定版コーチライセンス制度を示し、各都道府県の指導者育成委員会を中心に、広く理解されるよう努めてまいりました。それをさらに理解を深めていただき、より多くの指導者に伝わるよう、この度「コーチライセンス ハンドブック」を作成しました。今後のライセンス取得や昇格に向けて、本冊子を参考にさせていただきたいと思います。

日頃の練習や鍛錬が選手やチームの競技力を高める最も重要な部分ですが、バスケットボール競技は、試合中にコート内の選手に直接指示をしてもよいことがルール上認められています。他の競技に比べて、試合中の指導者の影響力が大きいのが特徴です。タイムアウトやメンバーチェンジのタイミングが直接勝敗に影響することもあります。また、技術・戦術の内容があまりにも多岐にわたるため、バスケットボール発祥の地であるアメリカにおいても戦術理論や技術用語の統一がなされていない現状にあります。その中で、各領域・各年代の指導者が共通の認識のもとに、選手の育成にあたるのが急務であり、その一役を「バスケットボール指導教本」と共に担ってきたのが「コーチライセンス制度」です。社会的な要求もあり、各カテゴリーにおけるコーチの指導力について求められる資質は、年々重要度を増してきています。

今一度、我々日本国内の指導者が基本に立ち返り、選手の安全に配慮しつつ、選手のあくなき向上心に応えられるよう、バスケットボール理論の習得と指導力の向上を目指していただきたいと思います。そして、皆様の力が、世界に通用する日本のバスケットボールの構築に貢献し、寄与されることを切に願っております。

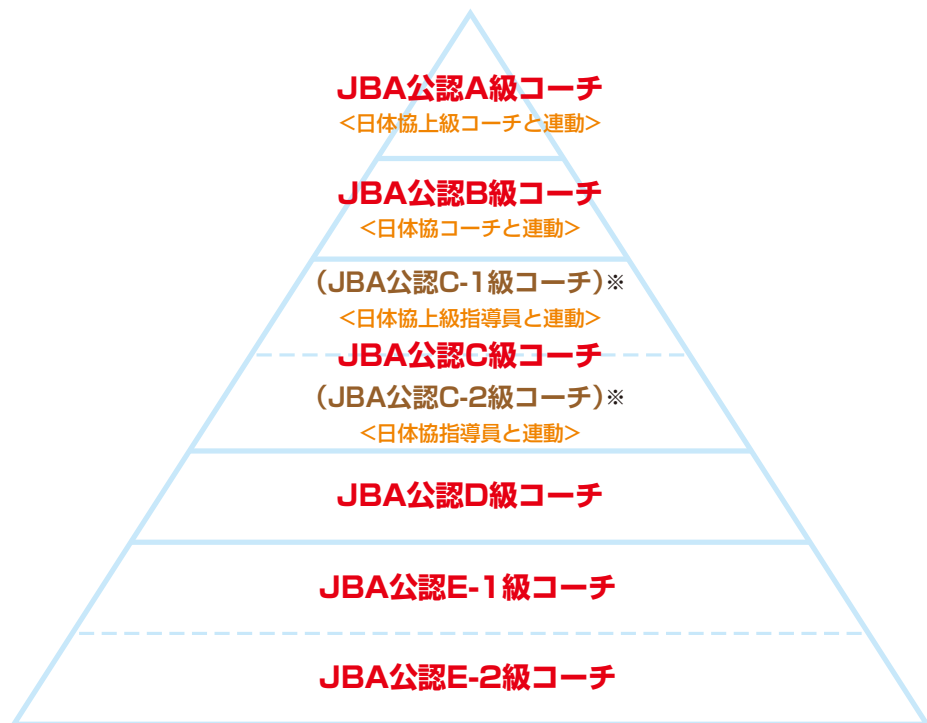
公益財団法人日本バスケットボール協会

会長職務代行 深 津 泰 彦



コーチライセンスの種類

2011年度よりコーチライセンスの呼称が新しくなりました。



※2015年度以降はC-1、C-2の呼称を「JBA公認C級コーチ」に統一する。



大会のレベルと必要資格

公式戦をレベル分けし、レベル別に必要資格を定めていきます。

ベンチで指揮をとる(スコアシートにサインする)コーチは必要資格を保有していることとします。

2015年度以降の大会レベルと必要資格(案)

レベル	範囲	大会	必要資格	対処(特別措置)
レベルⅠ	国際大会	日本代表戦	JBA公認A級コーチ以上	
レベルⅡ	トップリーグ	トップリーグ	JBA公認B級コーチ以上	
レベルⅢ	全国大会 各種別ブロック大会	天皇杯・皇后杯(オールジャパン)、全日本社会人選手権、全日本実業団、全日本クラブ、インカレ、インターハイ、ウインターカップ、全中、全国ミニ、国体、マスターズ、ジュニアオールスター、全日本教員、全国高専、全国専門学校、全日本クラブシニア、全日本クラブスーパーシニア、全国ママさん、および各種別ブロック大会	JBA公認C-2級コーチ以上	●受講中の場合は認める。 ●チーム就任1年目に限り免除とする。 ※但し、国体(ブロック国体含む)は資格保有を必須とする。
レベルⅣ	都道府県大会	都道府県大会 ※但し、地区大会(予選)が行われない都道府県大会は各都道府県協会が定めることとする。	JBA公認D級コーチ以上	●受講中の場合は認める。 ●チーム就任1年目に限り免除とする。
レベルⅤ	上記以外の公式戦 (都道府県内地区大会)	全国定通制大会	JBA公認E-1級コーチ以上	●受講中の場合は認める。 ●チーム就任1年目に限り免除とする。 ※バスケットボールを専門としない引率者(顧問)のみJBA公認E-2級コーチでも認める。

*適用大会については、今後各連盟と協議し、最終決定する。

(2013年3月現在)



コーチライセンス制度改定の段階的施行

2011年より一部改定を行い、5年後の**2015年に完全施行**を目指して段階的に施行していきます。

実施内容	大会参加条件
2011年度 1年目 ● 資格名称の変更 ● 日体協上級指導員養成講習会の開催中止	周知・徹底のみ (現行通り)
2012年度 2年目 ● JBA公認E-1級、E-2級コーチの養成開始	周知・徹底のみ (現行通り)
2013年度 3年目 ● 登録有効期間を1年間に変更(以後、1年更新) ● 登録開始時期の統一(4月登録) ● 試合会場での登録証ぶら下げ開始	持っていることが 望ましい
2014年度 4年目	原則として 持っていること
2015年度 5年後 ● 完全義務化	必ず持っていること

2015(平成27)年度からのコーチライセンス制度改定の完全実施に向けて、2013(平成25)年度より、全国的に公認コーチは、登録証(ライセンスカード)を提げて公式戦に臨んでいただきます。

- 登録証(ライセンスカード)を提げている者は、講習会等を受講して、公認コーチとして認定された指導者です。



コーチライセンス制度 細目一覧

	JBA公認 E-2級 コーチ	JBA公認 E-1級 コーチ	JBA公認 D級 コーチ	JBA公認 C-2級 コーチ	JBA公認 C-1級 コーチ	JBA公認 B級 コーチ	JBA公認 A級 コーチ
日体協資格 との連動	—	—	—	(指導員)	(上級指導員)	(コーチ)	(上級コーチ)
講習会 開催主体	都道府県	都道府県	都道府県	都道府県	都道府県	JBA	JBA
開催頻度	年1回以上	年1回以上	年1回以上	年1回以上	2011年度以降 の新規養成は 行わない。 現取得者には、 2015年度まで 「JBA公認B級 コーチ」の取得 を推進する。	年2回以上	3年に1回
専門科目 講習時間	6h	14h	40h (集合30h+ 通信10h)	40h (集合30h+ 通信10h)		60h (集合40h+ 通信20h)	40h (集合20h+ 通信20h)
共通科目 講習時間	—	—	—	通信35h		117.5h (集合40h+ 通信70.5h)	40h (集合16h+ 通信24h)
受講料 (専門)	¥2,000	¥5,000	¥14,700	¥14,700		¥10,500	¥16,800
受講料 (共通)	—	—	—	¥21,000		¥18,900	¥27,300
受講料 (合計)	¥2,000	¥5,000	¥14,700	¥35,700		¥29,400	¥44,100
初回事務 手数料	¥1,000	¥1,000	—	—	—	—	—
登録料／年 (日体協分 含む)	—	—	¥3,000	¥4,000	¥4,000	¥5,000	¥6,000
受講有効 期間	1年	2年	4年	4年	4年	4年	4年
リフレッシュ 研修	不要	不要	2ポイント	2ポイント	2ポイント	2ポイント	2ポイント
資格有効 期間	永年	永年	1年	1年	1年	1年	1年
受講条件	16歳以上 (高校生可)	18歳以上 (高校生不可)	18歳以上 (高校生不可)	18歳以上 (高校生不可)	18歳以上 (高校生不可)	C級保有者 22歳以上	B級保有者 30歳以上

* 受講料、登録料については、日体協との協議によって変更の可能性あり。

(2013年3月現在)

* 初回事務手数料とは、会員登録管理システム(TeamJBA)での登録・管理のための手数料。

* 2014年度までは制度改定による移行措置としてC級資格がない場合でもB級の受講可。

コーチライセンス取得方法

JBA公認E-2級、E-1級、D級、コーチの取得について

各都道府県バスケットボール協会が開催する講習会を受講してください。居住地以外の都道府県の講習会を受講することもできますが、その場合は受講した都道府県で登録し、活動する都道府県に移籍手続きを行ってください。(手続きはTeam JBA(会員登録管理システム)にて行ってください。)

JBA公認C級コーチの取得について

各都道府県バスケットボール協会が開催する講習会を受講してください。

または、JBA公認D級コーチ取得済み、もしくはJBA公認D級コーチ養成講習会受講中に、以下の講座を受講し、各都道府県体育協会を通じて手続きを行えば、日本体育協会バスケットボール指導員となり、JBA公認C-2級コーチとなります。

(1)NHK学園生涯学習通信講座 スポーツリーダー養成講座

(2)スポーツリーダー養成集合講習会コース

(3)スポーツ少年団認定員養成講習会

(2)(3)の開催期日等は、各都道府県体育協会に問い合わせてください。

スポーツリーダーまたはスポーツ少年団認定員を既にお持ちの方、大学や専門学校で「免除適応コース修了証明書」を取得した方、(1)(2)(3)の受講を修了した方は「指導員養成講習会共通・専門科目講習・試験免除(修了)申請書」(各都道府県指導者育成委員会を通して)、各都道府県体育協会に提出することになります。日本体育協会の受理が5月末日なら10月に、11月なら翌年4月に日本体育協会公認指導者となりますので、Team JBAによりJBA公認C-2級コーチへの昇格申請ができます。

→詳しくはP11をご覧ください。

JBA公認B級、A級コーチの取得について

各都道府県バスケットボール協会等からの推薦によって、受講資格を得ることができます。受講希望の方は所属の都道府県バスケットボール協会にお問い合わせください。

〈受講条件〉

B級：受講する年の4月1日現在 満22歳以上のJBA公認C級コーチライセンス保有者

※2014年度までは制度改定による移行措置としてC級ライセンスを取得していない場合でも受講可能

A級：受講する年の4月1日現在 満30歳以上のJBA公認B級コーチライセンス保有者

*コーチライセンスは指導者個人が受講し、個人に付与されるものです。



講習会カリキュラム

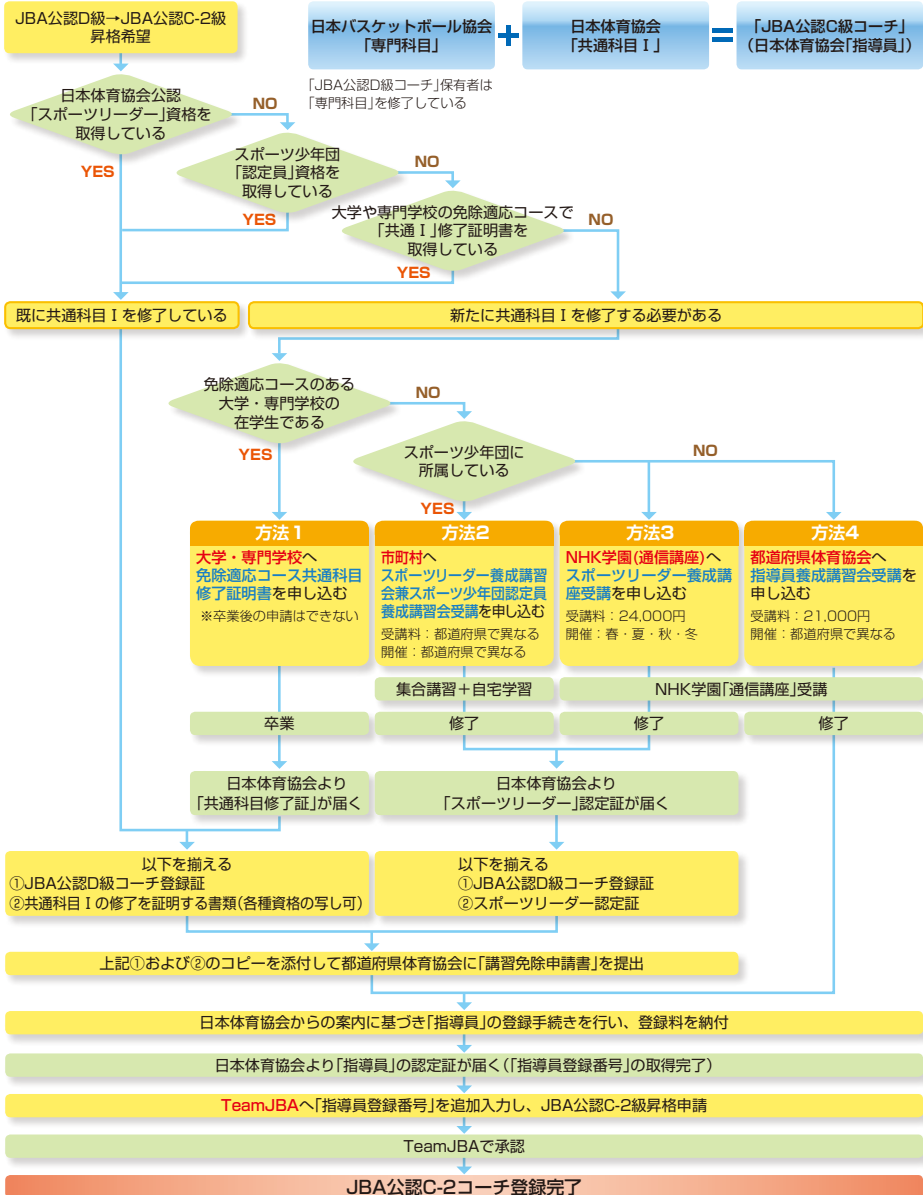
JBA公認E-2級、E-1級、D級コーチ養成講習会は以下のカリキュラムで構成されています。

区分		カリキュラム内容		時間数			E-2級	E-1級	D級
				集合	その他	計			
1	基礎理論	①	バスケットボールの特性&ルールの理解	2h	－	2h	●	●	●
		②	指導者の役割	1h	－	1h	●	●	●
		③	育成年代特有の指導指針	3h	－	3h	●	●	●
		④	コーチングフィロソフィー	－	2h	2h			●
		⑤	練習計画	－	2h	2h			●
		⑥	フィジカルトレーニング	－	2h	2h			●
		⑦	外傷予防	－	2h	2h			●
		⑧	技術・戦術論	－	2h	2h			●
		計		6h	10h	16h			
2	実技	①	遊びを使った導入法	2h	－	2h		●	●
		②	得点を取る技術の指導(シューティング)	2h	－	2h		●	●
		③	ボールコントロールの指導	2h	－	2h		●	●
		④	ミニゲームを使った指導	2h	－	2h		●	●
		計		8h	－	8h			
3	指導実習	①	シュートの指導	2h	－	2h			●
		②	1対1の攻撃の指導①(with ball の指導)	2h	－	2h			●
		③	1対1の攻撃の指導②(without ball の指導)	2h	－	2h			●
		④	1対1の攻防の指導③(ポストアップ、コンタクト)	2h	－	2h			●
		⑤	協力してシュートチャンスを作る指導①(2対2)	2h	－	2h			●
		⑥	協力してシュートチャンスを作る指導②(2対2、3対3)	2h	－	2h			●
		⑦	トランジションの指導(ディフェンス、オフェンス)	2h	－	2h			●
		⑧	マンツーマンディフェンスの基礎	2h	－	2h			●
		計		16h	－	16h			
				30h	10h	40h	6h	14h	40h

(2013年3月現在)

JBA公認D級コーチからJBA公認C級コーチへの昇格を希望している方へ

JBA公認D級コーチライセンス保有者または受講中の方で、JBA公認C-2級コーチへの昇格を希望している方は、以下のフローチャートに従って、必要な手続きを進めていきます。



リフレッシュ研修

指導者の資質向上を図るため、コーチライセンス取得者向けの研修会（リフレッシュ研修）を開催しています。

2015年度よりコーチライセンス取得者（E級コーチを除く）は、リフレッシュ研修を受講し、所定のポイントを獲得することで資格の更新を行えます。

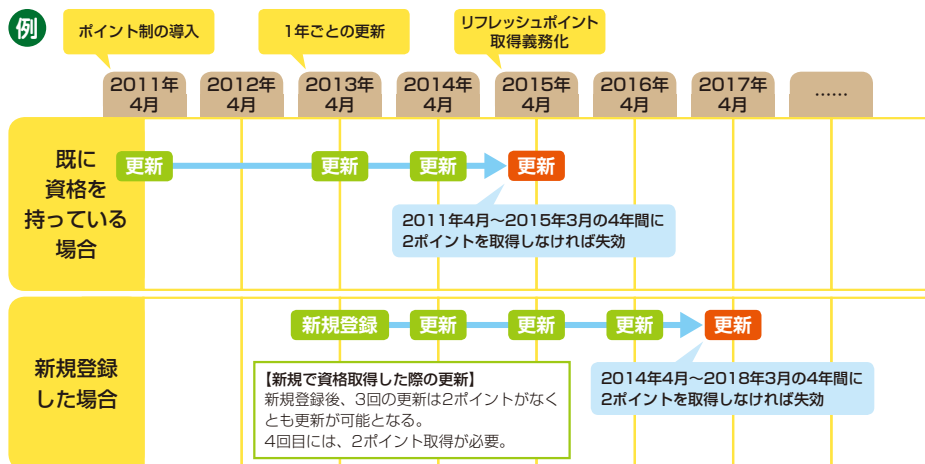


リフレッシュ研修のポイントについて

ポイントの有効期限は4年間とし、更新時に必要なポイントは2ポイントとします。但し、コーチライセンス取得後3回目の更新まではポイントの獲得を免除します。

〈ポイント基準〉

- (1) 1.5時間の講習会：1ポイント
- (2) 3時間の講習会：2ポイント
- (3) JBA又は都道府県協会が指定する試合観戦等及びレポート提出：1ポイント



重要 制度改定に伴う移行措置

2011年度開催のリフレッシュ研修からポイント制を導入し、ポイントを付与します。（2010年度までに受講したリフレッシュ研修にはポイントが付与されません。）そのため、2014年度の更新まではポイントを獲得してなくても資格の更新が可能です。

（2015年度の更新時には2011～2014年度の間に2ポイントを獲得していることが更新の必要要件となります。）

資質向上のための施策（JBA公認D級コーチ以上）

トップレベルの試合観戦が可能

- 天皇杯・皇后杯（オールジャパン）・インカレ・ウインターカップ・都道府県対抗ジュニア大会（ジュニアオールスター）が、登録証（ライセンスカード）の提示により、無料入場でき、観戦することができます。ただし、消防法等により入場制限が行われた場合、有料入場者が優先となる場合があります。
- その他、都道府県協会主管で行われるWJBLが無料入場の対象になることがあります。

コーチクリニックの開催

- 全国バスケットボールコーチクリニック等を開催し、情報提供の機会を増やし、研鑽の機会を提供します。クリニックへの参加により、リフレッシュポイントが付与されます。

コーチライブラリの開設（予定）

- Team JBAを活用して、インターネット上で閲覧可能なコーチライブラリを充実させていきます。



よくある質問

Q 養成講習会の日程や申込方法は、どうしたらわかりますか？

A JBA公認E-2、E-1、D級コーチ養成講習会は、各都道府県バスケットボール協会指導者育成委員会が実施・運営しています。日程や申込方法は各都道府県バスケットボール協会のホームページをご覧ください。問い合わせをお願いします。

Q テキストはどのようになりますか？

A 講習会のテキストは、「バスケットボール指導教本」日本バスケットボール協会編・大修館書店です。カリキュラム内容が改訂されましたので、テキストについても、それに準じて、2014(平成26年)以降に変更予定です。

Q 養成講習会はどこの都道府県で受講してもよいのですか？

A 養成講習会は、受講者の居住地あるいは勤務先の所在地の都道府県で受講するのが原則ですが、開催日程などの関係により他都道府県で受講することも可能です。但し、その場合は、受講修了後、必ず講習会を開催した(受講した)都道府県で登録手続きを行ってください。(受講した都道府県で手続きを行わないと、講習会を修了し合格した方かどうか判断できなくなります。)Team JBAでは、都道府県の移籍手続きがいつでもできるようにしていますので、必要に応じて、現在の居住地に移籍手続きを行ってください。

Q 日本体育協会のライセンスを取得すれば、日本バスケットボール協会のライセンスは必要ないのでは？

A 両方必要です。JBA公認C-2級コーチ以上のライセンスは、日本体育協会バスケットボール指導員以上のライセンスがあってはじめて成り立ちます。ライセンス取得後は2枚のカードの管理と更新のための義務研修(リフレッシュ研修)を忘れずに行ってください。なお、日本バスケットボール協会が主催する全国バスケットボールコーチクリニックに参加すれば、どちらも更新できます。

Q 資格の管理はどのようになっていますか？

A 資格の管理は、役員・審判・コーチ・選手、全て同じく、Team JBA(公益財団法人日本バスケットボール協会 会員登録管理システム)により管理されます。自身のメールアドレスを持っていることが前提となります。登録料等の支払いは、郵便局やコンビニエンスストアで可能です。資格の更新や昇格申請も簡単に行えます。

選手として登録している方は、すでにメンバーIDをもっていることになります。個人で選手登録をしている場合は差支えありませんが、チーム責任者がまとめて選手登録をしている場合は、コーチ登録の際に、チーム責任者にご自身のメンバーID、パスワードを確認し、メールアドレスとパスワードを自分のものに変更してから申請手続きを行ってください。

詳しくはTeam JBA(<http://team-jba.jp/>)のトップページ、登録ガイドをご覧ください。

JBA2010宣言

～JBA100周年(2030年)に向かって～

JBAの理念

バスケットボールの普及・振興と強化を図り、もって人々の心身の健全なる発展に寄与する

JBAのビジョン

バスケットボールを愛する誰もが、バスケットボールを楽しめる環境を作る
全ての人々に感動と希望を与え、皆が誇れる日本代表チームを作る

100周年への目標

男女日本代表は、2020年オリンピックにともに出場を目指し、2030年までには、オリンピック・世界選手権においてメダルの獲得を目指す

バスケットボールの強化と普及を目指し、2030年には登録者数100万人を目指す

2030年・創立100周年に、夢のアリーナ構想「ナショナルバスケットボールアリーナ」の完成を目指す

日本バスケットボール協会 コーチライセンス ハンドブック JBA Coach License Handbook

編集 ● 公益財団法人 日本バスケットボール協会 テクニカル委員会

委員長 佐々木 三男

コーチコミッティーグループ

倉石 平 加藤敏弘 柴田雅貴 岡嶋昭人 栄田直宏 松中敦子

発行日 ● 2013(平成25)年4月1日

発行 ● 公益財団法人日本バスケットボール協会

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-28-5 第2オークラビル7F

TEL 03-3779-3101



COACH LICENSE HANDBOOK